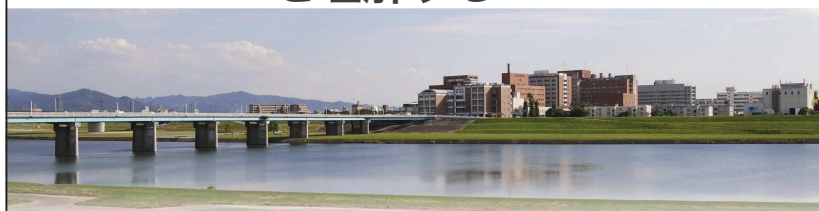


福岡県体育研究所
2023年度断続研修（保健体育）

7回目：授業づくりの方法等
を理解する



スポーツ医科学科 野田 耕

noda_kou@kurume-u.ac.jp



1

0.はじめに

- 文科省「教師を取り巻く環境整備にちての緊急的に
取り組むべき施策（提言）（案）」
（令和5年8月28日）

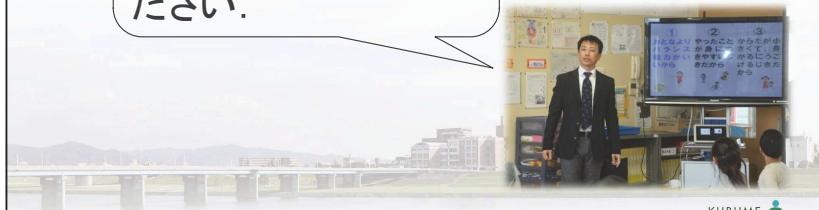
1. 業務の適正化
2. 働き方改革の実行性向上
3. 勤務環境整備

3

本講義でのテーマ

■ 体育の授業づくりの基礎

学生時代に戻った
気持ちで参加してく
ださい。



KURUME
UNIVERSITY
▲県内某小学校における保健授業

2

0.はじめに

■ グローバルな視点でも — SDG's —



●「誰一人、取り残さない！」
という理念

→ 全ての子どもが対象

4

子どもの意見を聞きながら進める授業

●国連「児童の権利に関する条約」

- ・1989年国連で採択、1994年日本は批准。
- ・「生命」「保護」「発達」「参加・表明」の権利

●子どもの権利保障のための仕組み

履行状況
政府報告

市民・NGO
など報告

最終所見
勧告

5

本講義の内容

- 1.授業づくりと授業研究
- 2.体育授業の構造と構成要素
- 3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

7

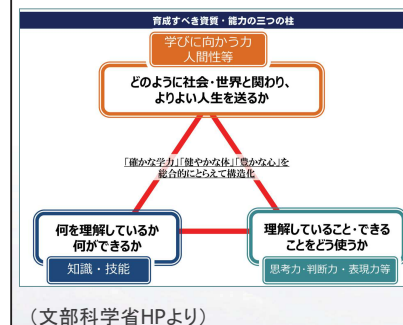
子どもの意見を聞きながら進める授業



6

1.授業づくりと授業研究

■ 現行の学習指導要領



体育科・保健体育科

すべての運動領域で教えるべき
3つの内容

- ①知識・技能(運動)
- ②思考力・判断力・表現力
- ③学びに向かう力、人間性等

8

1.授業づくりと授業研究

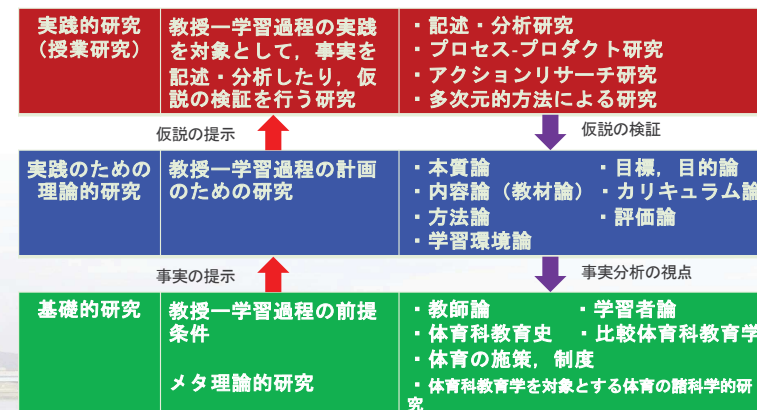
■ なぜ授業研究をするのか？

- ・佐藤先生 →学習指導要領の内容, 単元構造図
- ・日野先生 →「追証可能な方法で実践に役立つ客観的な知識を生み出していくこと」
- ・本多先生 →「実践の改善, 理解の改善, 場の改善」を図る. ひいては「新たな知の共有」, 「学びや力量の広がり」に繋がる



1.授業づくりと授業研究

■ 体育科教育学の研究領域の層（高橋, 1992）



(高橋健夫: 体育授業研究の方法に関する論議, スポーツ教育学研究, 20, 1992, 19-31より)

1.授業づくりと授業研究

■ 先人に学ぶ

- ・友添秀則氏 →体育科教育学の成立について。。。

「…戦前・戦後に“心ある現場の教師が子どもと真摯に向き合ってきた授業実践や経験の蓄積と連続があったのではないか。…”」

(体育科教育学研究ハンドブック, 2021, 大修館書店, ¥2,090)

良い保健・体育授業をして, 子どものからだ・心, 運動・スポーツなどの知識や技能, 考える力, 学び続ける姿勢等を身につけさせたい



1.授業づくりと授業研究

■ 授業研究（分析）方法論（小林, 1998）

- ・授業分析には**授業記録**が必要
- ・授業は諸要因が絡み合う, 明解に指摘することは困難
- ・**事実を正確に**
- ・**感想や反省は客観性に乏しい**
- ・子ども, 教師の発言と行動を共に**記録・記述**
- ・発言, 行動を**カテゴリー化**
- ・**量的**分析と**質的**分析
- ・優れた実践者に**共感し, 学ぶ**



(小林篤: 体育授業分析方法論, 体育学研究, 43(2), 1998, 71-78)

1.授業づくりと授業研究

■ 授業研究（分析）は子どものため

- ・基礎を理解し，仮説を立て，計画を立案し，実践する。
そしてその実践を振り返り，課題を設定し，の繰り返し。



▲晴天時のハードル走の模擬授業



▲雨天時のハードル走の模擬授業

2.体育授業の構造と構成要素

■ 授業の構造



4つの柱で
授業を支える

- ・目標がない
- ・その場で決める
- ・教具，用具の準備不足
など



何か不足・失敗で
授業が困難・崩壊

2.体育授業の構造と構成要素

■ 授業の構造

- 1.目標
 - 2.内容
 - 3.方法
 - 4.評価
- 「目標－内容－方法－評価」の**関連性**と
一貫性はきわめて重要

2.体育授業の構造と構成要素

■ 構成要素

- | | |
|---------------|-------------------|
| A.児童生徒(学習主体) | →多様性, 個別性, 子どもの背景 |
| B.学習内容 | →指導要領, 教師の理念, 教材観 |
| C.教師(授業者、指導者) | →センス, 努力, 個性 |
| D.計画 | →目標, 見通し, 実効性 |
| E.学習環境 | →工夫・改善 |

授業づくりでは
重要

【参考文献】

松田岩男・宇土正彦:体育科教育法, 大修館書店, 1978
高橋健夫:体育の授業を創る, 大修館書店, 1994

2.体育授業の構造と構成要素

■ 構成要素からみる体育授業の成否

	生徒	内容	教師 計画	用具 施設	問題や要因など
例1	○	○	○	○	授業の成功（良い授業）, 学習の保障
例2	○	×	○	○	
例3	○	○	×	○	
例4	×	×	○	○	

17

2.体育授業の構造と構成要素

■ 授業の構造や構成要素を意識した体育授業

考え方 → 構造をしっかりと考える
構成要素を整え, 準備・実践する



久留米大学 御井本館



旭町校舎 有形文化財

19

2.体育授業の構造と構成要素

■ 構成要素からみる体育授業の成否

例)

- ・体育嫌が多い
- ・意欲無し, 見学が多い
- ・単元計画, 教材の準備は万全
- ・用具も潤沢, デジタル機器も設置

例)

- ・運動, スポーツが好きな生徒に
- ・生徒の意欲を喚起する内容, 方法
- ・単元計画, 教材の準備は万全
- ・用具も潤沢, デジタル機器も設置

どのような改善が
必要でしょうか?

18

2.体育授業の構造と構成要素

■ 高田典衛氏に学ぶ（高田, 1976）



高田典衛: 体育授業入門
1976, 大修館書店

高田四原則

- (1) 快適な運動
- (2) 技能の伸長
- (3) 明るい交友
- (4) 新しい発見

20

2.体育授業の構造と構成要素

■ 子どもを生かす評価法

- ポイント1) 教えないことは評価しない
- ポイント2) 小刻みに評価する
- ポイント3) 子どもに即し評価する
- ポイント4) 教材により評価法を変える

■ 指導と評価の一体化



なぜ、いまさら“
むかし話”をして
いるのでしょうか？



体育科, 保健体育科という教科目名
を, いま, 改めて考える



2.体育授業の構造と構成要素

■ 『体育の子』（佐々木賢太郎, 1956）



佐々木賢太郎: 体育の子,
1956, 新評論版, 資料

体育授業の実践記録

保健体育の実践記録を所収
した書籍としては戦後初？！

- ▼ 体育授業での気付き
- ▼ 自他の身体の様子
- ▼ 生活との結びつき など



日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会(同志社大学)でのシンポジウム

テーマ: 科学的エビデンスからみた保健体育のカリキュラムと学習指導
— これからの保健体育が目指す教育と研究のかたち —

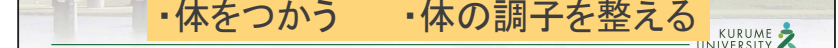
戦前・戦中 → 令和時代

身体教育 運動を通じた教育 運動・スポーツの教育 体と心のスポーツ教育

「身体教育」を矮小化し
て捉えてきたのでは？

体の教育・からだ育ての再考, 視座

- ・ 体をつめる 体を育てる
- ・ 体をつかう 体の調子を整える



3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ スポーツ医科学科での体育科模擬授業事例

- ・グループ毎に交代で、1人15分実施
- ・「ハードル走」「バドミントン」



25

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ スポーツ医科学科での体育科模擬授業事例

- ・授業の実施後に
教師役 → 教師行動に関する評価
生徒役 → 授業を受けての印象評価
- ・各単元後に「自己省察」記述



27

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ スポーツ医科学科での体育科模擬授業事例



26

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ 「生徒役からのコメント」と「自己の課題」

テキストマイニング

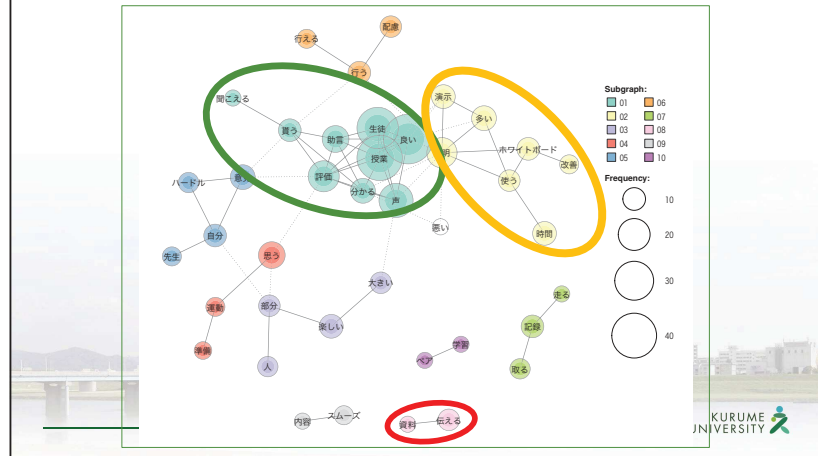
学生が模擬授業で気がついた点や検出された語の関連性を概観。

授業の効果、学生の授業実践（教育実習）への課題が分かる？！

28

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

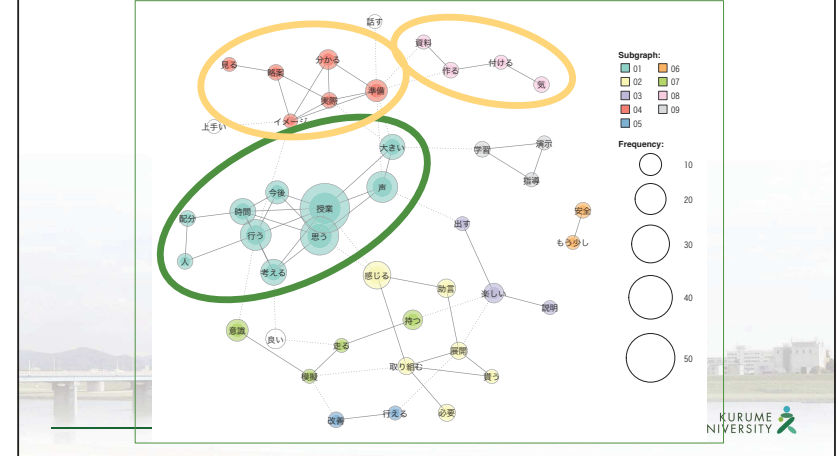
■ 共起ネットワーク ・ 生徒役からの助言



29

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ 共起ネットワーク ・ 今後の課題



31

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

追加

mp-No.	L	C	R
138	に説明できたので良かった。○演説する部分はできていた。また、	授業	の盛り上げ方などは良かったとあった。だが、知識不足な点が目に出てしまい、
200	駄目だった。全体的に見ても評価は2・3が多きまままだだと感じた。	授業	構成をしっかりと固めずに行ってしまったのが原因だと思う。○声の大きさ
241	○声の大きさ、タイミング、立ち居振る舞い、グループを回って指導した点など、	授業	らしさ・先生らしさがある。グループ分けにてリーダーを置いたことでグループワークがスムーズに
708	安全に配慮していたのが良かったという評価も多かった。○楽しく運動できた	授業	だった。盛り上がった時の規律や安全面の配慮を怠らなければ良い。体育館の生徒にとって
735	○盛り上げた時の規律や安全面の配慮を怠らなければ良い。体育館の生徒にとっては楽しい	授業	だったが、体育館の生徒も楽しいから聞かされたのが良かったと思う。内容の
781	内容の幅をもっと広く、生徒が楽しめやすい構成だった。○話し合いの大きさや	授業	を楽しく取り回すことに関しては、良い評価を貰うことができた。また、自分の側ではペア
860	を取り上げてもいい評価を受けた。自分の側ではペア学習で生徒の思考力を取り込む	授業	であったため教師側が主となって授業を展開しなかったため、修正点の意見を
872	回ではペア学習で生徒の思考力を取り込む授業であったため教師側が主となって	授業	を展開しなかったため、修正点の意見を貰うことはなかった。○今回ハードル走
898	展開しなかったため、修正点の意見を貰うことはなかった。○今回ハードル走の	授業	を行ったうえで最も多かった意見は「もっと授業の工夫をした方が良い」という
911	はなかった。○今回ハードル走の授業を行ったうえで最も多かった意見は「もっと	授業	の工夫をした方が良い」ということだった。私の授業は6回目で復習
929	多かった意見は「もっと授業の工夫をした方が良い」ということだった。私の	授業	は6回目で復習を兼ねた中間記録のようなものであったため、最初に1人
1031	技術に関する有意義な助言は行えていなかった。○声が大きくなりやすくて、明るく楽しい	授業	だったと言ってくれたことがすごく嬉しかった。時間配分を間違えてしまっ、時間が
1157	足りなかった。演説が少なかった。演技の半端が多すぎた。○	授業	が始まって説明と同時に演説も行っていたが、生徒が理解しやすかった。生徒が次に
1223	○驚きを取り組むといった安全面での配慮も行った。ただハードルを飛び越えるだけの	授業	ではなく、グループ活動を通して生徒同士の意見交換の場が設けられていたことが良かった
1301	○ペアで発表を見て、発表させたのは良かった。説明が丁寧で	授業	がスムーズに進行していた。声が小さかった。練習のリレーゾーンを滑りやったり、ゲーム性が
1352	良かった。演説を見せると良かった。自信がなくなりました。○大きい声で演説で	授業	で良かったので、楽しい授業ができていた。ホワイトボードを使って授業の軸に重点を

30

3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

追加

L	C	R
45	うと思った。○知識を蓄えること、生徒への話し方、助言、安全面への	行
344	○時間の配分がまだできておらず、それに伴って緊張と少し違った授業を	行
348	ことである。授業前にいるものの準備や物の配置などを終わらせることや、実際に	行
458	準備や物の配置などを終わらせることや、実際にを行う前に自分の中でイメージトレーニングを	行
467	ことや、実際にを行う前に自分の中でイメージトレーニングを行って、流れをつかんで授業を	行
310	行えず、生徒に上手に伝わってなかった。自分で内容をしっかりと覚えて、分かりやすい授業を	行
362	演説でも取り入れていきたいと思った。声をもっと大きく出して、自信を持って授業を	行
383	授業を行うことができないように感じないといけないと感じた。説明の際、自分が	行
347	することで、笑顔が増えて良い雰囲気や授業ができていくと思う。○実際に授業を	行
321	たい。○今後の課題としては、前回できていなかった時間配分を上手に授業を	行
351	することです。他には授業の流れや目的などを明確にして、それを意識して	行
398	人ではないので、安全を確保したい部分があると思います。評価シートの中では	行
328	と考えるます。評価シートの中では、悪いという評価はなかったですが、模擬授業を	行
347	と聞かれます。○授業が終わった後の個人的な反省としては、記録会や	行
338	に聞く目で見えてくるようにしていきたいことがありますが、もっと丁寧に授業を	行
375	大きさを指摘されていたので、もっと元氣よく先生から生徒を楽しませる勢いで授業を	行

32

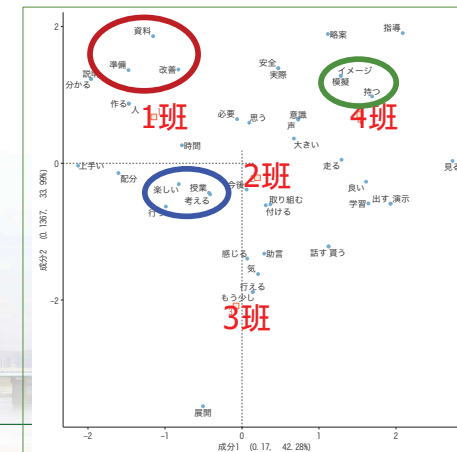
3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ 共起ネットワークの結果から見てきたこと

- ・ 生徒役の助言から
 - ➡授業構成を綿密に、知識不足、楽しい授業への方法、工夫 など
- ・ 今後の課題から
 - ➡説明時の発生（抑揚、声量等）、授業のイメージづく（略案含む）、めあてと内容の一致、など

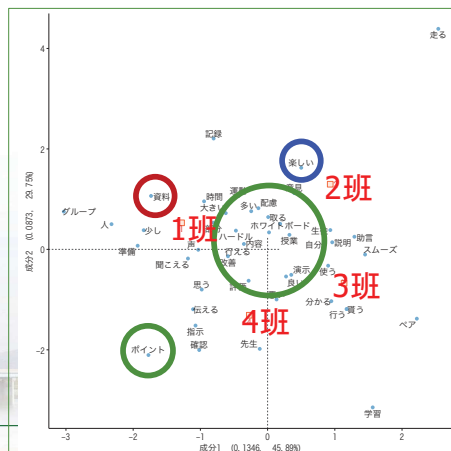
3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ 対応分析 ・ 班ごとにみる今後の課題



3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ 対応分析 ・ 班ごとにみる生徒からの助言



3.学生の模擬授業におけるテキスト分析

■ 対応分析の結果から見てきたこと

- ・ 各班共通の特徴
 - ➡ホワイトボード、内容、多い、演示、配慮、行う、など
- ・ 班ごと課題
 - ➡例えば1班では「資料を活用する」
 - 2班では「楽しい授業」 など

まとめ

- 授業づくりには授業研究が必要
 - ・授業の構造と構成要素を再認識しましょう。
- 先人にも学ぶ授業研究
 - ・見る(観る), 聞く, 読む
 - ・体育科, 保健体育科の教科の意義
- 児童・生徒のための授業研究を

ご清聴ありがとうございました



まとめ

- 自身の授業の記述や生徒の感想も
 - ➡ いろいろな授業分析のツールがあります。
量的・質的に授業研究(分析)を。
- 教員組織でわいわい・ガヤガヤと
 - ➡ ブレストからも成果や課題は見えてきます。